

平成28年度 第2学年 前期授業アンケート 分析表

現代文	授業の内容理解はできている。予習復習を促す学習の仕掛けによって、一人でじっくりと読解し、より深くより論理的に考え、吟味した言葉で表現する力を養い、難度を高めた授業展開を目指したい。
古典	古典の学習に慣れ、自分の克服できていない部分の把握もできるようになった。今後は苦手分野の克服を意識した予習・復習を自ら行い、一步上の古典作品読解に進めるような、学習の仕方の支援を含めた授業展開を心掛けたい。
数学Ⅱ	高校での授業のペースに慣れてきた部分と自分自身が学習の主体であるという自覚が出てきた生徒が増えてきた。1年次に比べ内容的に難しいことを要求される科目であるため、生徒が自ら学習に向えるような支援を実践したい。
数学B	高校での授業のペースに慣れてきた部分と自分自身が学習の主体であるという自覚が出てきた生徒が増えてきた。多くの生徒が困難を感じる分野である。予習・復習の徹底を図り、生徒の理解に沿った指導を心がけたい。
英語表現Ⅱ	多くの生徒が前向きに取り組んでいるが、昨年度よりも扱う英語の難易度が上がり、既習事項が定着していない生徒にとってはやや難しく感じる授業となっている。復習の徹底を図り、扱う英語のレベルを調整しながら授業を進めていきたい。
コミュニケーション英語Ⅱ	ペア・グループ活動を多く実施しており、授業内のコミュニケーション活動に多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。予習への意識が大幅に高まっており、今後も意識を高く持ち集中して取り組める授業となるよう工夫を続けたい。
世界史A	授業のねらいがもうひとつ生徒に理解されていない部分がある。科目の特色とそれを学ぶ現代的な意義を繰り返し説明する中で生徒の興味関心を高めていきたい。
日本史A	授業の内容・進度・難易度などに対してはある程度満足をしているという結果であった。A科目という特性上、歴史そのものの魅力を伝えることや、思考・資料活用 of 技能・表現法などを高めていく授業を意識していきたい。
地理A	授業のわかりやすさ・進度などは概ね良好な意見がみられた。少人数での授業という環境を生かして生徒とのやり取りを大切にしたい授業を心がけていきたい。
世界史B	ほとんどの生徒が世界史への興味関心が高まったと回答している。今後もこうした生徒の期待に応えるべく教材研究、授業方法の改善により積極的に取り組んでいきたい。
日本史B	授業に対する姿勢は概ね良好であり、授業の難易度・進度などは適切であるという回答が多かった。一方で、授業の深さや興味関心の高まりといった面では改善の必要があり、教員一同授業研究を重ねて、生徒の学習意欲を高めていきたい。
地理B	「授業が難しい」「授業進度が速い」の回答の割合が一定程度ある。学問的な関心を高めつつ、授業内容を精選しながら、理解しやすい授業となるよう工夫したい。
倫理	思想の分野で、「理性」・「精神」等、抽象的な語句を具体例に置き換え、それを自分の言葉で表現する取り組みを通して、思想に対する理解力や表現力が高まっている。思想について分かりやすい説明のみに終始せず、思想の本質に触れる授業展開を考えて取り組みたい。
物理	多くの生徒が授業に取り組む姿勢は前向きではあるが、物理基礎に比べ内容が難しくなったことで、苦手意識を持つ生徒もいる。実験、演習等を通して、より興味・関心を高め、理解の深まるような授業の工夫をしていきたい。
化学基礎	授業の進度・難易度・分かりやすさ等、概ね良好な評価であった。グループ学習（実験や演習）を取り入れることで、学習の意欲向上、理解を深めることにつながったと感じる。今後も引き続き、思考力を問うような効果的な実験ができるよう研究に努めたい。
生物	授業内容・進度などは概ね良好だが、興味関心を高めるよう改善する必要がある。実験観察や教材提示の方法を工夫するなど授業改善に取り組んでいきたい。
実践生物基礎	難易度や進度に関しては概ね良好な評価である。一方、授業を通じて、もっと科目の内容に触れてみたいと感じるよう、興味関心を高める授業を工夫していく必要がある。
地学基礎	授業に対する評価は概ね良好であった。身の回りの事象について多く扱う科目でもあるので、普段の授業から興味・関心の高まる工夫をし、地球の環境や身の回りの防災など地学を通して考えていけるよう働きかけていきたい。
保健体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適正である。授業は週2回ではあるが、技能・体力の向上が見られる生徒が約半数いる。選択制授業の充実を図り、3年生の男女共修選択制授業へのよい準備期間となるよう働きかけていきたい。